



飛鶴の森林から

発行日
2013年10月31日 第80号

林野庁 北海道森林管理局
釧路湿原森林ふれあい推進センター



▽ 木工教室の様子



▽ 作品を手に記念撮影

森林環境教育

木工教室・森林教室・学校林活動を支援

10月22日(火)、釧路町立昆布森小学校で、1・2年生の児童10名が参加して、北海道の郷土樹種であるトドマツの板を土台として、マツボックリや木の輪切り、小枝等を使用し、写真立てを作りました。

当初、子ども達は、どんな飾り付けにしようか、貼り付けるものは何にしようかと悩んでいた様子でしたが、段々とアイデアが湧き出し、時間内に全員が作品を完成させることができました。

完成した作品は、各自の名前をつけて、廊下に展示されましたが、子ども達たちは、早く家に持ち帰りたい様子でした。また、「楽しかった。」「上手にできた。」「等の感想が、子ども達から寄せられ、最後に、作品を手に記念撮影をして、木工教室を終りました。



▽ パネルでの説明の様子



▽ 「カモフラージュ」の様子

10月29日(火)、パイロットフォレスト国有林で、標茶町立久著呂中央小学校の児童3名と引率の先生、当ふれあいセンターの職員2名で、森林教室を行いました。

始めに、森林で木が育つ様子から、使われ方までをパネルで説明したところ、子ども達から「木はどのように伐るのですか。」「ここには、何種類の木がありますか。」「等の質問があり、ふれあいセンター職員が、丁寧に答えていました。次に、場所を移動して、自然の中に隠した人工物を探す「カモフラージュ」を行い、生き物の

擬態や生きる知恵と工夫を学んでもらいました。また「フィールドビンゴ」では、自由に森林の中を歩き回り、いろいろな発見をしてもらいました。子ども達からは「カモフラージュが、一番楽しかった。」「という感想が寄せられる一方、先生は黄金色に染まる雄大なカラマツ林の景観に、感動されている様子でした。

久著呂中央小学校は、2年後に廃校が決まっているそうで、少々淋しくなりますが、子ども達は元気一杯な1日でした。



▽ 冬囲い設置の様子



▽ 「クイズワーク」の様子

10月30日(水)、標茶町立中茶安別小中学校の学校林で、児童生徒26名が参加して「秋の学校林活動」が実施され、当ふれあいセンターからは、職員4名が講師として参加しました。

開会式の後、実のなる木が、ネズミの食害に遭わないよう、根元にペットボトルを設置するとともに、雪の重みに耐えられるよう、竹の支柱を設置しました。次に、鳥の巣箱の利用状況を確認しながら清掃を行ったところ、二つに利用した痕があり、さらに孵化していない卵も発見したことから、子ども達からは、驚きの声が上がっていました。最後に、樹木に関する問題を解きながら散策する「クイズウォーク」を行いました。樹木の葉や実が落ちてしまい、一部、難しい設問となりましたが、中学生がまとめ役となり、木の周りや地面を熱心に観察しながら、問題を解いていました。

当日は、少し動くと汗ばむほどの陽気に恵まれ、今年最後の学校林活動を無事、終了しました。



第2回 森林アクティビティ講座

自然再生・生物多様性の保全

10月6日(日)、雷別地区自然再生事業地で、公募で集まった市民の参加を得て、本年度第2回目の「森林アクティビティ講座」を開催しました。

今回の講座では、シードトラップの回収とタネの収集、ツリーシェルターの設置等を実施しました。

担当者からの作業手順等の説明の後、9月に設置したシードトラップの回収とドングリの収集を行ったところ、今年の結実は凶作のようでした。



▽ カシワのドングリ



▽ カンパのタネ

ミドリシヤラミ
ヤブやカナ
シワの力
ドングリ
リは少
な状態
なで



▽ ツリーシェルター設置の様子



▽ 設置したツリーシェルターの様子

のタネが多く落ちていたことから、合わせて収集しました。その後、笹地14へ移動し、先月、雷別ドングリ倶楽部の会員が植樹した広葉樹へ、エゾシカの食害から苗木を守るため、ツリーシェルターを100本を設置しましたが、参加者が手際よく作業を進めていただいた結果、予定より作業が早く終了し、午後からは森林散策を楽しみました。



▽ カミネッコンの様子(7月21日)



▽ カミネッコンの様子(10月6日)

第1回森林アクティビティ講座(7月21日開催)で、作成・植樹したカミネッコンが、防鹿柵内で元気に育っています。今後の成長が楽しみです。

道民森づくりネットワークの集いに参加

10月19日(土)、道庁赤れんが庁舎前で「道民森づくりネットワークの集い2013」が開催されました。

この催しは、森づくりネットワークの強化・拡大と道民の森づくり活動への参加を促進するため、道民の自発的な森づくり活動の中心となる、森林ボランティア団体・企業などが一会場に集い、森づくりに関する様々な情報発信や意見交換などを行うことにより、道民と交流を図ることを目的として開催されており、当ふれあいセンターからは、「デジタル顕微鏡での観察」と「パネル展示」のブースを出展しました。当日は晴天となり、札幌市民をはじめとして多くの来場があり、当ふれあいセンターのブースも賑わっていました。



▽ 会場の様子



▽ 釧路ふれあいセンターの様子

- 十一月の予定
- ① 十一月三日(日) サイエンス屋台村(釧路市子ども遊学館)
 - ② 十一月七日(木) 遊学の会森林活動支援(パレットフォレスト国有林)
 - ③ 十一月九日(日) 木育・森林づくりパネル展(イオン昭和店)
 - ④ 十一月二十日(水) 第4回 雷別ドングリ倶楽部(雷別国有林他)



国民の森林・国有林

釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305

【E-mail】h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp

【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

当ふれあい推進センターは、国有林をフィールドとして、北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取組むNPO等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。